

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	歴史と景観のまちづくり事業	担当課	企画財政課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり
	政策	訪れる人に感動を与える観光業の振興
	施策	魅力ある観光施策の充実
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	地域資源（歴史文化・自然景観等）を活用した市民主体による新たなまちづくり活動による地域活性化
事業の手段	神山町の地域住民によるまちづくり懇談会の開催支援。 有志による「まちづくり懇談会」も取り込んだ神山町全域の住民が参画する「まちづくり協議会」の発足支援
事業の対象	神山町民

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)		3	3
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源		3	3
B	担当職員数(職員E) (人)		0.05	0.05
C	人件費(平均人件費×E) (千円)		334	324
D	総事業費(A+C) (千円)		337	327
主な事業費用の説明		懇談会(ワークショップ)開催経費、		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 懇談会等の開催回数	開催回数の集計	3	1	5
	2				
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	懇談会の開始から3年を経たため、市民団体の発足を目指し、積極的に開催を働きかけた。			
	2				
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	神山町へのまちづくり団体の設立	設立団体数	0	0	1
	2	実施事業 (26年度より)	事業の数	—	—	—
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	懇談会等を開催し議論を重ね、地元住民と協力して、まちづくり協議会の設立に至った。				
	2					
	3					

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 神山町まちづくり協議会は地域力の向上を目指し「住民主体のまちづくり」を推進する団体として発足。26年度は手始めとして、協議会と市(農林、観光、企画)が協働で「花のまちづくり事業」「わに塚の桜の子孫の植樹事業」を行う。 今後この事業を足がかりに「歴史や景観といった資源を活かしたまちづくり」を地域が主体となり進めていけるよう関係課が連携し支援する。 ・大村美術館と連携し花のまちづくり事業をさらに進めたフットパスルートの開拓。 ・女子美術大との事業提携によるまちづくり事業を模索。
過去の改善経過	
課長所見	地域資源を活かした神山町のまちづくり事業を担う「まちづくり協議会」が平成26年3月に設立された、今後モデル事業の実施を通じて、地域の活性化に向けた市民協働の取り組みの充実を図る。